

サクランボ特報 No.3

R2. 4.30 No.3
J A 中野市営農センター
J A 中野市サクランボ部会

開花日（佐藤錦）：4月25日頃 昨年比+2日

4月の低温により生育はやや停滞気味に進んでいます。

定期防除・管理作業は遅れないよう計画的に実施しましょう。また、乾燥状態が続く場合は、灌水を実施しましょう。

【重要なお知らせ】新型コロナ感染拡大防止のため、当面の間、講習会等の開催を中止いたします。ご不便をおかけしますが、時期の栽培管理資料等は各特報の中で記載する予定です。尚、詳しくは担当技術員までお問い合わせ下さい。

第4回 定期散布

散布時期	5月中下旬 *前回の散布から14日後		散布日 5月 日	
	(散布日の目安：5月15日～21日)		散布量 リットル	
散布薬剤	水	100ℓ当り		
	オンリーワンフロアブル	50mℓ	(収穫前日まで、5回)	
	アーデントフロアブル	25mℓ	(収穫前日まで、2回)	
散布量	10アール当り	500ℓ		
混用順	水 ⇒ オンリーワン ⇒ アーデント			
対象病害虫	灰星病、炭そ病、オウトウショウジョウバエ			

【注意事項】

- ① 今回から収穫終了後まで展着剤は使用しない。
- ② 灰星病(黒斑病)発生園は、ベルコートフロアブルの2,000倍(収穫7日前、3回以内)を加用する。

●花器異常が散見されています

- (1) 開花の早い品種、生育の早い花を中心に花器異常(貧弱花、めしべ欠落)が確認されています。
- (2) 開花状況をよく観察し、健全な花を中心に授粉を行ない結実確保に努めましょう。
- (3) 枝によって着果量が不足する場合は、樹全体で着果量を確保しましょう。

●摘果

- ① 時期：生理落果終了後。大豆大の頃。(高砂・香夏錦・紅秀峰など)
- ② 方法：1花束状短果枝当り3～4果を残す。残す果実は、縦長で肥大良好な果実、果柄が長い果実。
- ③ 注意：結実過多の樹を実施する。花器異常により、着果不足が心配される場合は、摘果を見合わせ、樹全体で着果量を確保する。

次ページもご覧ください。

●かん水

- ① 時期：落花直後の肥大初期。20ℓ程度。
- ② 注意：果実の地色が抜け始めると裂果の恐れがあるため、かん水量を控えめにする。
結実量が少ない樹や強樹勢の場合は、裂果しやすいため、かん水量を控えめにする。

●新梢管理

- ① 時期：満開後3～4週間頃。（5月中旬）
- ② 方法：5～6芽程度残して摘芯する。（葉枚数で4～5枚）

●葉面散布について

樹勢衰弱や葉色が薄い場合は、葉面散布を実施し、健全な葉の育成と光合成、初期肥大促進に努めましょう。

＊葉面散布使用例・・・定期散布時に農薬と混用が可能です。（混用は最後です）

資材名	成分量	目的	倍率	使用時期	規格、単価	100ℓ 散布 単価
オルガミンDA	窒素全量 0.11%	光合成促進 品質向上	1,000 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	1ℓ 3,730 円	373 円
	水溶性苦土 4%				5ℓ 15,840 円	317 円
	水溶性ほう素 0.7%				10ℓ 29,700 円	297 円
	水溶性加里 0.11%					
	水溶性マンガン 0.25%					
ビビットグリーン	水溶性苦土 4%	苦土補給 葉の健全化 光合成促進	500 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	1.2kg 1,430 円	238 円
					5kg 4,410 円	176 円
液体硫酸マンガン	水溶性マンガン 13.5%	マンガン補給	200 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	1kg 1,040 円	520 円
グリーンデイズ	水溶性苦土 16%	苦土等補給 葉の健全化 品質向上他	1,000 倍	第3～4回目の 定期散布時に混用	1kg 1,530 円	153 円
	水溶性マンガン 9.0%					
	水溶性ほう素 2.5%					
ビビットレッド	リン酸 9%、加里 7%	果実品質向上	500 倍	第4～5回目の 定期散布時に混用	1.2kg 1,420 円	237 円
					5kg 4,330 円	173 円

次回特報発行予定：5/17
内容：第5回定期散布、今後の管理作業